

【2017年度不開講】

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
応用スポーツ科学特殊研究B	1年次秋学期 (2セメスター)	講義 ※演習含む	2	湯浅 景元、桜井 伸二 高橋 繁浩、田内 健二
授業概要				
博士課程の学生として、バイオメカニクスなどの分野の研究を進めるにあたり、問題の所在を明確にし、有意義な内容の研究を確実に進められるようになることを目的として授業を進める。受講学生の興味によって扱う内容や進行の形式は異なる。				
授業目標(到達目標)				
スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学、コンディショニング、コーチング科学などの個別の研究テーマを深めることができる。最近の研究成果を取り上げて考究することにより、博士学位論文作成に資する知識や能力を得ることができる。				
成績評価方法・基準				
応用スポーツ科学系所属の4人の教員によるオムニバス講義である。 評価: 授業への取り組み(70%)、プレゼンテーション(30%)				
教科書・教材・参考文献 等				
[テキスト] および[参考文献]:各教員が授業中に適宜指示する				
授業計画				
	項目・内容			担当
1	授業の進め方の確認、ガイダンスなど			桜井
2	スポーツバイオメカニクス研究の最新の動向 1 基礎			桜井
3	スポーツバイオメカニクス研究の最新の動向 2 応用			桜井
4	スポーツバイオメカニクス研究の最新の動向 3 発展			桜井
5	コーチング研究の最新の動向 1 基礎			湯浅
6	コーチング研究の最新の動向 2 応用			湯浅
7	コーチング研究の最新の動向 3 発展			湯浅
8	コンディショニング研究の最新の動向 1 基礎			高橋
9	コンディショニング研究の最新の動向 2 応用			高橋
10	コンディショニング研究の最新の動向 3 発展			高橋
11	トレーニング科学研究の最新の動向 1 基礎			田内
12	トレーニング科学研究の最新の動向 2 応用			田内
13	トレーニング科学研究の最新の動向 3 発展			田内
14	プレゼンテーションの演習 1 基礎			桜井
15	プレゼンテーションの演習 2 応用			桜井
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
後期課程における論文作成では当該分野の深い知識や考究を必要とするが、同時にスポーツ科学領域全体を見渡す広い視野も重要である。英語論文の抄読などを課す。十分な予習・復習が必要である。				